

意見書案第1号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について

上記の議案を宗像市議会会議規則第14条第1項の規定により、次のとおり提出する。

令和5年3月24日

宗像市議会議長 神谷 建一 様

提出者 宗像市議会議員 岡本 陽子
賛成者 宗像市議会議員 新留 久味子
賛成者 宗像市議会議員 伊達 正信
賛成者 宗像市議会議員 北崎 正則
賛成者 宗像市議会議員 森田 卓也
賛成者 宗像市議会議員 笠井 香奈枝
賛成者 宗像市議会議員 岩岡 良

提案理由

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどに伴う免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し、発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、接種費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

よって、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチン接種に係る助成制度の創設及び予防接種法に基づく定期接種化を強く求めるため、関係機関に意見書を提出するもの。

提出先

厚生労働大臣、財務大臣

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書（案）

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどに伴う免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し、発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、接種費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるとも言われている。

そこで、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチン接種に係る助成制度の創設及び予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年 月 日

福岡県宗像市議会議長 神谷 建一